

## 平成31年度第2回伊賀市ごみ減量・リサイクル等推進委員会 議事概要

日 時：令和2年2月25日（火）午後1時30分～午後3時

場 所：さくらリサイクルセンター2階 大会議室

出席者：委員15人中15人

### 【出席委員】

小竹委員長、樋口副委員長、川瀬委員、松本委員、福島委員、福島(一)委員、  
山本委員、福島(康)委員、中島委員、森岡委員、前川委員、上田委員、大田委員、  
森西委員、前山委員

事務局：田中人権生活環境部長、前澤生活環境政策監

廃棄物対策課 西尾課長、喜多田副参事、増井主幹、赤津主査

さくらリサイクルセンター 上窪副参事

浄化センター 南所長

青山支所振興課 稲森課長、吉藤主査

伊賀南部環境衛生組合 高野業務室長

(一財)三重県環境保全事業団 井面、菊地

### <議事概要>

(西尾課長による議事進行)

#### 1. あいさつ 田中人権生活環境部長

平素、環境行政の推進にご協力いただきありがとうございます。

可燃ごみについて、昨年8月から民間事業者による焼却処理を実施しております。ごみの処理量について、全体に増加傾向にあります。内訳としましては、金属ごみが前年比で7パーセント程度増加しております。これは、中国のプラスチックごみ受け入れ全面禁止などもその要因として考えられます。市としましては、循環型社会の実現をめざし、3R（リサイクル、リデュース、リユース）の考え方を含め「ごみを減らす、ごみを出さない」取り組みが一番大切であると考えています。

#### 2. 議題（小竹委員長による議事進行）

(1) 災害廃棄物の処理方法について **資料1**に基づき事務局説明。

災害時のごみの流れについて、家庭ごみまたは避難所の生活ごみ、災害廃棄物、一次仮置場、二次仮置場を順次説明。

(2) 不法投棄物等回収専用ごみ袋制度について **資料2**に基づき事務局説明。

不法投棄物等回収専用ごみ袋の運用方法、専用ごみ袋交付申請書、今年度の専用ごみ袋交付状況について説明。

【質疑応答】

委員 専用ごみ袋の在庫が無くなっても対応してくれますか。

事務局

当面は十分あります。無くなった場合どうするか、別途検討します。

(3) 2020年度資源・ごみ収集カレンダーについて 資料3に基づき事務局説明。

2020年度資源・ごみ収集カレンダー（伊賀北部地区）と2020年4月～9月  
青山ごみ収集日程表（伊賀南部青山地区）について説明。

青山地区については、変更点について追加説明。

【質疑応答】

委員

ホース類をごみ集積所に出す際、伊賀北部では50cm以下にするとあり、青山では1mとなっているが、なぜ異なるのか。統一してもいいように思う。

事務局

おそらくですが、伊賀北部については、さくらリサイクルセンターの前処理機械の性能に合わせて50cm以下（枝・木類も同様）としていると思われます。また、収集作業場において、ごみが長すぎると作業に差し支えるため50cm以下にした、ということも考えられます。

青山地区について、ごみを伊賀南部クリーンセンターへ持ち込む場合が1m以下となっております。集積所に出す場合は、指定ごみ袋に入るサイズ（45リットル以下）にしていただかないと収集できません。枝・木類については、焼却処分前に裁断機でごみを裁断しますが、投入口のサイズが1m程度であるため、持ち込みの際のサイズもそれに従って1m以下となります。ホース・パイプ類については、破砕機にかける際、長すぎると機械への巻きつき等が生じ故障の原因となるため、1m以下としています。

なお、北部と南部で収集方法の違い等について勉強会なども行っておりますので、ご質問いただいた件について統一できるかどうか、今後の課題とさせていただきます。

委員

4月から青山地区で収集開始となる小型家電については、サイズの規定はないのか。

事務局

小型家電については、45リットル以下の透明または黒色以外の半透明の袋に入れて出していただくことになりますので、袋に入らないサイズのものは粗大ごみ（有料収集）として出してください。なお、分解して袋に入れた場合も収集可となります。

また、45リットルの袋に入るサイズであっても、家電リサイクル法対象品（テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン）やパソコンについては収集できませんのでご注意ください。

(4) ごみ減量・リサイクル等推進委員の改選について 資料4に基づき事務局説明。

伊賀市ごみ減量・リサイクル等推進委員の概要及び令和2～3年度委員選出地区  
割り表について説明。

(5) ごみの収集・処理について 資料5に基づき事務局説明。

小型家電及び水銀使用廃製品の収集数量について、平成31（令和元）年度の月別及び地区別の合計数を報告。

【質疑応答】

委員

水銀製品は、どこかの業者が持って帰っているのか。

事務局

市と契約締結している市内の専門業者になります。

委員

具体的にはどこか。

事務局

市内のエヌアイ㈱が処理を行っております。

委員長

小型家電では携帯電話端末が非常に多く、地区別では上野が8割近くを占めている状況ですね。

事務局

はい、そのような状況です。

委員

地区別の数量について、青山の回収数量が人口に対して少ないように思う。

事務局

小型家電については金属ごみとしても出すことができますので、この表に計上されていない小型家電もあることと思います。

また、三重とこわか大会（2021年秋開催予定）の金メダル素材として携帯電話等を提供していることも関係しております。

(6) (仮称)汚泥再生処理センター建設工事の進捗状況について 事務局から報告。

現在、第1処理場の清掃を行っており、それが完了し次第撤去し、駐車場や計量棟を整備する予定。また、4月からの本格稼働に向け、15年間の長期包括運転管理業務を受託する業者がプロポーザル方式の入札で選定済みであり、契約締結事務が進行中との報告。

(7) ごみ分別区分見直しについて 資料6に基づき事務局説明。

冒頭、資料一部訂正あり（添付ファイルの資料は訂正済み）。

前回の委員会で提案した分別区分見直しについて、その後幹事会を開催し、内容について議論を行い、案としてまとめた。硬プラ・革製品類だけでも150以上の品目について、燃やすごみにするのか粗大ごみにするのかといった仕分けが必要になる。おおむね第1、第2の二つの段階で行きたいが、最終的には第3段階も設ける形になると市から説明。

詳細について、本案作成業務受託者である三重県環境保全事業団が資料に沿って説明。今回の分別区分見直しは、伊賀市・名張市での広域化処理を念頭に、両市の分別収集区分の違いを整合することを目的としている。そのための第１段階では、硬プラ・革製品類を可燃ごみへ変更し、火災事故が急増しているリチウムイオン電池の回収対策を実施する。第２段階では、埋立ごみに分類されているテープ類及び使い捨てカイロ等を可燃ごみへ変更、またサーマルリサイクルの観点から容器包装プラスチックを可燃ごみへ変更する。これら収集項目変更については、インターネットやチラシなどで周知に努める。

なお、資料では移行時期イメージで現行・第１段階・第２段階・第３段階と示しているが、あくまで素案であるため、第２段階までとなる可能性もある。今後、幹事会等で詰めていきたいと市から補足。

#### 【質疑応答】

##### 委員長

特に、第１段階とされている２０２１年度から２０２２年度にかけての変更について、ご意見いただきたいと思います。

##### 委員

結局、硬プラが無くなるということか。

##### 事務局

以前は、硬プラは（買取業者に）売却し、市の収入になっていましたが、現在では引き取ってくれる業者もありません。（可燃ごみと硬プラを分けて）別々に収集してはいますが、（どちらも）三重中央開発で処理してもらっているのが現状です。ですので、硬プラは可燃ごみにまとめてはどうか、という提案です。

##### 委員

今だったら、ふとんも硬プラの日に月１回出しているが、燃えるごみにしてしまうということは、ふとんでも何でも燃えるごみの日に出してもいいということか。

##### 事務局

そのあたりが見直し案にかかわってきますが、今おっしゃったふとんなどは（焼却処分）できないので、それは粗大ごみの方に区分しようかと。それで（硬プラ・革製品類の）１５６品目についてどちらにするか（可燃ごみに入れるか、粗大ごみ等に入れるか）の作業が発生してくるということになります。

##### 委員

容器包装プラスチックについて、（分別して出されても）汚れなどがあり、（それらを再分別する）手間も人件費もかかるため、名張市では分別をやめると聞いた。伊賀市ではどうか。

##### 事務局

それについては、第２段階で検討を行います。

委員

将来的には燃えるごみに入れる方向で検討するということか。

事務局

そういうことになります。

委員長

156品目ありますので、一つひとつ吟味することは大変だと思います。詳細にわたる、ごみの分別区分見直しにつきましては、幹事会でとりまとめをお願いしたいと思います。

事務局

はい、よろしくお願いします。

委員長

それでは、これで本日予定しておりました議題についてはすべて終了いたしました。

その他、事務局のほうから何かご案内があればよろしくお願いします。

委員

前回欠席させていただきました。それで資料を確認しようと思いホームページを閲覧したが、何ヶ月も情報が流れてこない。他の町協（住民自治協議会）にも資料を提供するという意味で、忙しいとは思いますが、早く（ホームページに）アップして欲しい。

委員長

ただいまご要望がありましたが、情報の公開については決められておりますので、よろしくお願いします。

事務局

はい。

委員

要望です。市指定ごみ袋について、名張市と伊賀市は色も黄色でよく似ている。神戸地区でよくあるのが、（伊賀市住民が）名張市のごみ袋に入れてごみを出し、そのため伊賀市が回収しないというケース。お年寄りが青山のスーパーで買い物をした際、間違っって名張市指定のごみ袋を買ってしまう。

後々でよいが、わかりやすいようごみ袋の色を変える、両市で統合する、袋は違っても回収する、など考えていただきたい。

事務局

「黄色い袋はカラスに荒らされにくい」と言われていた時期があったため、同じカラーになっているのかもしれませんが。お買い求めの際、巻いてあるものが名張・青山、平たく置かれているものが伊賀北部、という区別をしていただくくらいしか今のところないのかなと思います。他市でも黄色を採用しているケースが多いようですので、改善の余地があるかと思います。

委員長

当面色を変えることができないのであれば、指定ごみ袋取り扱い店に対し、どの市のごみ袋か太字で明記するなど、わかりやすい表示をしてもらうよう協力要請してはどうか。

事務局

依頼であれば、できると思います。

委員長

以上ですべての質疑を終了させていただきます。

これを持ちまして、第2回伊賀市ごみ減量・リサイクル等推進委員会を閉会させていただきます。ご協力ありがとうございました。

### 3. その他

引き続き開催する幹事会について事務局より案内。